

2014年度（2015年3月卒業生）

新卒視能訓練士就業調査状況調査 調査結果

目的：今後ますます増加する視能訓練士の就業状況を把握するために調査実施する。

対象：第45回新卒視能訓練士国家試験合格者を輩出した全国の視能訓練士養成施設27校（大学7校・専門学校20校）に調査依頼。

調査協力施設 大学7校 専門学校18校 計25校

就職先区分	大学	専門学校	全体	比率 %	前年度増減数
1. 国立高度専門医療センター (ナショナルセンター)	0	0	0	0	▲1
2. 国立大学法人	14	13	27	3.7	▲3
3. 独立行政法人国立病院機構	1	3	4	0.5	±0
4. 公立医療機関 (都道府県市町村の病院及び診療所)	10	22	32	4	3
5. その他国立系の病院	0	1	1	0.1	1
6. 公立大学病院	2	5	7	1	▲2
7. 公立に準ずる病院及び診療所	17	19	36	4.9	22
8. 私立大学病院	29	20	49	6.7	4
9. 私立病院（他科もある病院の眼科）	27	38	65	8.9	▲27
10. 私立眼科病院	24	20	44	6	▲19
11. 眼科診療所（医療法人及び個人）	130	297	427	58.5	63
12. レーシックセンター (レーシックを主にしている眼科診療所)	2	0	2	0.3	2
13. 視能訓練士の学校または養成所	3	2	5	0.7	4
14. 大学院	2	0	2	0.3	▲1
15. 福祉関係	1	1	2	0.3	1
16. 病院・医院以外の医療関係企業	6	1	7	1	4
17. 医療関係以外の職業	3	3	6	0.8	4
18. 就職せず	6	8	14	1.9	▲6
19. 他大学	0	0	0		▲1
20. 他専門学校	0	0	0		±0
合計	277	453	730		48

小数点第2位四捨五入

2015年8月現在

視能訓練士需給計画委員会実施

今回の調査結果について

1. 新卒視能訓練士数

新卒視能訓練士数（国家試験合格者数）は2011年度636名、2012年度544名、2013年度は731名、2014年度（2015年3月卒業生）は755名で昨年度より24名増加しました。国家試験新卒合格率は2013年度、2014年度ともに93.8%でした。第45回視能訓練士国家試験合格者を輩出した全国の視能訓練士養成施設は2013年、2014年ともに27校でした。

2. 就職先

開業医への就職は2010年度312名（49.3%）、2011年度331名（52.1%）、2012年度284名（51.7%）、2013年度364名（53.4%）、2014年度427名（58.5%）となっています。2011年度から新卒視能訓練士数の半数を超えています。2014年度は公立に準ずる病院及び診療所が22名増加し、私立病院（他科もある病院の眼科）が27名、私立眼科病院が19名減っています。

国立・公立関連は、定員化増を引き続き推進していく必要性があります。

3. 就職意識

2011年度より開業医への就職が半数を超え、「先輩」が勤務している開業医も増加していることで、学生の就職希望条件である「先輩がいること」を満たしています。2014年度は6割近くが開業医に就職したので、今後更に開業医への就職が増加していく傾向が考えられます。

見事国家試験に合格された755名の新卒視能訓練士のみなさま、合格おめでとうございます。今回の調査で視能訓練士として就職をされた730名のみなさま、就職おめでとうございます。夢と希望に燃えて視能訓練士業務を遂行されていることでしょう。視能訓練士協会の生涯教育等を通じて自己研鑽を積んでくださることを願っています。

常に患者様のことを考え、社会貢献できる視能訓練士としての活躍を期待いたします。

需給委員会では今後も調査を続け、更なる視能訓練士の需要拡大を目指していきます。

今後とも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

視能訓練士需給計画委員会